信州大学医学部附属病院　乳腺・内分泌外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「当院における甲状腺癌に対するレンバチニブの

治療成績に関する後方視的解析」に関する臨床研究を

実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	**当院における甲状腺癌に対するレンバチニブの治療成績に関する後方視的解析**
所属(診療科等)	乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤研一（教授）
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年12月31日
研究の意義、目的	甲状腺癌に対してレンバチニブによる治療を受けた患者様の治療効果、副作用や経過を調べ、今後の甲状腺癌診療に役立てることを目的としています。
対象となる患者さん	2015 年 5 月 1 日～2026 年 4 月 30 日に当科でヨード抵抗性甲状腺分化癌または甲状腺未分化癌に対してレンバチニブを開始された方。
利用する診療記録	年齢、性別、診断名、病期、既往歴、検査結果（病理・BRAF 遺伝子変異）、前治療歴、内服期間・量、治療効果、副作用、減量・中止と理由、病気の進行や生存に関する情報。
研究方法	診療記録を用い、癌の種類ごとに治療成績を調べます。BRAF 遺伝子変異の有無や、それまでに受けた薬物治療の段階による違いも比較します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部外科学教室　乳腺内分泌外科学分野　森川大樹 （電話：0263-37-2657）

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。なお、すでにお亡くなりになっている患者様については、ご遺族の方が患者様に代わって、診療記録の利用をお断りいただくことができます。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。